

## 南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施します(報道公開)

名古屋高速道路公社は、南海トラフ地震を想定し、災害発生時の対応手順や役割を確認し、実効性の検証を行うとともに職員の防災意識の高揚と知識の向上を図ることを目的として防災訓練を行います。

訓練では、災害対策本部の運営のほか、道路啓開を迅速かつ効率的に行うため、今年度は新たに路面の段差・開きの応急対策として軽量の渡し板を用いる実働訓練を行います。

### 1. 日 時

平成28年8月31日 (水) 9:00~12:00

### 2. 場 所

名古屋高速道路公社本社 4階

名古屋市北区清水四丁目17-30(名古屋高速道路公社黒川ビル)

### 3. 訓練内容

- ①災害対策本部運営訓練
- ②路下点検訓練
- ③非常用発電機始動訓練
- ④道路啓開訓練

### 4. 訓練上の想定

南海トラフ地震が発生し、名古屋高速道路に被害が生じた状態を想定します。災害対策本部に職員が参集した状態から開始し、名古屋高速道路を道路啓開して緊急車両を通行させることができるようになるまでの一連の災害対策業務を模擬実施します。

### 5. 訓練参加機関及び参加人数等

名古屋高速道路公社	42名	
(一財)名古屋高速道路協会	3名	
土木維持業者	6名	計51名

### 6. その他

当日の取材をご希望の方は、8月30日(火)15時までに広報課(TEL052-919-3236)までご連絡ください。

# 防災訓練の概要

## 訓練内容・場所

### ①災害対策本部運営訓練 (9:00～11:00)

内容 : 災害対策本部の組織を運営し、被害状況の収集把握、点検・応急復旧の進捗管理、啓開のための指示及び対外的な情報発信を行います。

場所 : 名古屋高速道路公社 本社 4階

### ②路下点検実働訓練 (9:30～10:00)

内容 : 職員、協会及び維持業者が名古屋高速道路の高架下を実際に歩いて点検し、衛星携帯電話を使って災害対策本部に報告を行います。

場所 : 名古屋高速道路 高架下 (本社付近)

※職員が点検時の構造物の着目点等や衛星電話による通話について説明します。

### ③非常用発電機始動訓練 (11:00～11:15)

内容 : 災害対策本部を 72 時間運営させるための非常用発電機の始動訓練を行います。

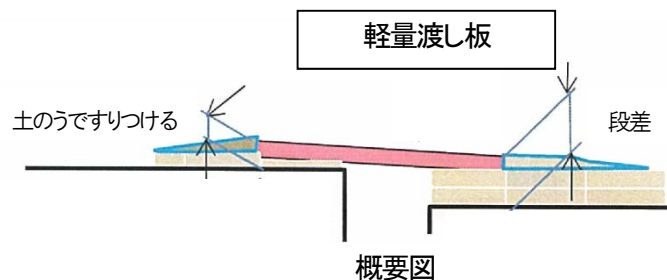
場所 : 名古屋高速道路公社 本社 3階

### ④道路啓開訓練 (11:15～12:00)

内容 : 路面ジョイント部に開き及び段差が生じた場合に車両が通行できるようにする応急対策として、軽量渡し板の設置訓練を行います。

場所 : 名古屋高速道路公社 本社 3階

※軽量渡し板は人力で運搬可能であり、かつ大型車が通行出来る強度を有している繊維強化プラスチック製の製品。(首都高速株と宮地エンジニアリング株が共同開発)



※写真・図とも製品 パンフレットより